



2019年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年9月10日

上場会社名 コーセル株式会社
コード番号 6905 URL <https://www.cosel.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷川 正人

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 小西 有吉

TEL 076-432-8151

四半期報告書提出予定日 2018年10月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期第1四半期の連結業績(2018年5月21日～2018年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第1四半期	7,095	10.9	1,351	17.2	1,323	8.5	910	10.5
2018年5月期第1四半期	6,396	25.5	1,153	75.9	1,220	78.8	823	71.2

(注) 包括利益 2019年5月期第1四半期 740百万円 (20.0%) 2018年5月期第1四半期 925百万円 (253.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第1四半期	25.32	
2018年5月期第1四半期	22.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年5月期第1四半期	46,223	40,221	86.9	1,117.60
2018年5月期	45,137	40,041	88.7	1,113.23

(参考) 自己資本 2019年5月期第1四半期 40,171百万円 2018年5月期 40,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期		16.00		16.00	32.00
2019年5月期					
2019年5月期(予想)		17.00		17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年5月期の連結業績予想(2018年5月21日～2019年5月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,600	19.4	2,490	2.7	2,540	1.0	1,730	2.5	48.13
通期	32,200	21.1	4,900	4.2	5,000	3.7	3,460	6.1	96.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2018年9月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) Powerbox International AB
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年5月期1Q	37,212,000 株	2018年5月期	37,212,000 株
期末自己株式数	2019年5月期1Q	1,267,296 株	2018年5月期	1,267,296 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年5月期1Q	35,944,704 株	2018年5月期1Q	35,944,742 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(追加情報)	9
(企業結合等関係)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な設備投資、好調な企業業績に支えられ、回復基調を維持しました。海外においては、米国経済は堅調に推移し、ヨーロッパ経済は景気回復基調を維持しました。また、アジア経済は、中国において若干の鈍化傾向が見られるものの、引き続き先進国に比べて高い成長率を維持しました。一方、米国と中国を中心とする貿易摩擦問題の影響により、世界経済の先行きには不透明感が強まっています。

エレクトロニクス業界におきましては、スマートフォンや有機EL関連の設備投資調整や、自動車電装化の進展、データセンター関連設備投資向けの電子部品需要増加を見込んだ半導体製造装置においても一部先送りになるなど、低調に推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、営業開発部門の連携のもと、新製品を軸とした重点顧客への提案活動を展開するとともに、自動化装置の自社開発など生産能力及び工程品質の向上をねらいとした取組みを推進してまいりました。

新製品につきましては、小型・高速応答の非絶縁型DC-DCコンバータ（POL）「BRFSシリーズ」拡充モデル、大電力・高効率パワーモジュール電源（安定型バスコンバータ）「CHSシリーズ」拡充モデルをそれぞれ市場投入いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は57億39百万円（前年同期比18.3%減）、売上高は70億95百万円（同10.9%増）となりました。利益面におきましては、売上高の増加に伴い、経常利益は13億23百万円（同8.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億10百万円（同10.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本生産販売事業

日本国内では、半導体製造装置関連で設備投資の先送りや在庫調整の影響を受け、低調に推移しました。

このような情勢の中、営業開発部門の連携を強化し、新製品の拡販活動に注力するとともに、新規顧客の開拓、重点顧客の深堀活動に取り組んでまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、52億21百万円（前年同期比13.7%増）、セグメント利益は11億16百万円（同20.5%増）となりました。

②北米販売事業

米国では、半導体製造装置関連の需要が縮小する一方で、医用機器、計測機器関連の需要が増加するなど、全体的には堅調に推移しました。

このような情勢の中、ファクトリーレップとの連携活動に注力してまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、7億13百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益は90百万円（同53.7%増）となりました。

③ヨーロッパ生産販売事業

ヨーロッパでは、一般産業機器、計測機器、医用機器関連の需要増加により、全体的に好調に推移しました。

このような情勢の中、重点ディストリビューターとの連携を強化し、新規プロジェクト獲得、新規顧客開拓に注力してまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、3億37百万円（前年同期比32.7%増）、セグメント利益は16百万円（同7.4%増）となりました。

なお、当該セグメントは、当第1四半期連結会計期間にPowerbox International ABの株式取得を行い、新たに連結子会社としたことに伴い、報告セグメントを「ヨーロッパ販売事業」から「ヨーロッパ生産販売事業」に変更しております。なお、当第1四半期連結累計期間に被取得企業の業績は含まれておりません。

④アジア販売事業

アジアでは、韓国を中心に半導体製造装置関連で設備投資の先送り、顧客や販売店の在庫調整の影響を受け、低調に推移しました。

このような情勢の中、ターゲット業界・顧客を絞り、新規プロジェクト獲得、新規顧客開拓に注力してまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、8億23百万円（前年同期比6.9%減）、セグメント利益は42百万円（同11.0%減）となりました。

⑤中国生産事業

中国生産事業においては、品質管理体制の強化と生産性向上活動に継続して取り組むとともに、顧客納期を意識した生産活動と部材調達を進め、顧客のニーズに対応してまいりました。

この結果、セグメント間の内部売上高は、3億39百万円（前年同期比12.6%増）、セグメント利益は64百万円（同17.1%減）となりました。

なお、参考までに記載すると事業部門別の業績は、次のとおりであります。

1) 受注高及び受注残高

事業部門	当第1四半期連結会計期間 (自 2018年5月21日 至 2018年8月20日)		当第1四半期連結会計期間末 (2018年8月20日)	
	受注高 (百万円)	対前年同期増減率	受注残高 (百万円)	対前年同期増減率
ユニット電源	3,454	△23.8%	3,448	△4.2%
オンボード電源	2,041	△5.8%	3,021	64.3%
ノイズフィルタ	243	△24.6%	153	16.3%
合計	5,739	△18.3%	6,622	18.9%

2) 売上高

事業部門	当第1四半期連結会計期間 (自 2018年5月21日 至 2018年8月20日)	
	売上高 (百万円)	対前年同期増減率
ユニット電源	4,467	8.8%
オンボード電源	2,294	15.7%
ノイズフィルタ	333	9.2%
合計	7,095	10.9%

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間において、Powerbox International ABの株式取得等に伴い、資産合計は462億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億86百万円増加いたしました。負債合計は60億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億7百万円増加いたしました。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は225億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億90百万円減少いたしました。これは主に、有価証券が5億99百万円、たな卸資産が10億9百万円増加した一方で、現金及び預金が52億15百万円減少したことによるものであります。

固定資産は236億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億77百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が15億39百万円、のれん等の無形固定資産が32億85百万円増加した一方で、投資有価証券が8億31百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は55億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億78百万円増加いたしました。これは主に、買掛金が6億45百万円、未払金が5億89百万円増加した一方で、未払法人税等が7億65百万円、賞与引当金が2億25百万円、製品保証引当金が36百万円減少したことによるものであります。

固定負債は4億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億29百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は402億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億79百万円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益9億10百万円、剰余金の配当5億75百万円等により、株主資本が3億28百万円増加し、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の減少等によりその他の包括利益累計額が1億71百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は86.9%（前連結会計年度末は88.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向及び当第1四半期連結会計期間に株式取得したPowerbox International ABの連結開始に伴い、第2四半期連結会計期間以降の売上高増加を見込み、2018年6月13日に「平成30年5月期 決算短信」で公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正いたしました。

具体的な内容につきましては、本日（2018年9月10日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,242,249	5,026,387
受取手形及び売掛金	9,188,221	9,355,785
有価証券	2,200,150	2,800,105
商品及び製品	1,087,264	1,746,317
仕掛品	93,502	314,410
原材料及び貯蔵品	2,798,310	2,927,433
その他	277,287	426,116
貸倒引当金	△4,956	△5,522
流動資産合計	25,882,029	22,591,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,692,112	3,853,856
減価償却累計額	△2,762,249	△2,919,792
建物及び構築物(純額)	929,863	934,064
機械装置及び運搬具	6,837,825	7,123,574
減価償却累計額	△5,033,214	△5,094,033
機械装置及び運搬具(純額)	1,804,611	2,029,541
工具、器具及び備品	5,564,439	5,898,921
減価償却累計額	△5,141,617	△5,414,241
工具、器具及び備品(純額)	422,822	484,680
土地	1,192,440	1,192,440
建設仮勘定	879,402	2,128,190
有形固定資産合計	5,229,140	6,768,916
無形固定資産		
ソフトウェア	83,905	76,581
のれん	—	2,604,541
その他	10,173	698,445
無形固定資産合計	94,079	3,379,568
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	125,740	128,029
投資有価証券	13,229,699	12,398,147
繰延税金資産	428,345	583,151
その他	148,036	375,031
投資その他の資産合計	13,931,822	13,484,359
固定資産合計	19,255,041	23,632,845
資産合計	45,137,071	46,223,878

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年8月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,227,229	1,872,560
未払金	863,403	1,452,844
未払法人税等	1,110,245	344,926
賞与引当金	413,963	188,028
製品保証引当金	712,000	676,000
その他	402,222	973,227
流動負債合計	4,729,065	5,507,587
固定負債		
退職給付に係る負債	206,900	232,708
繰延税金負債	-	69,834
その他	159,133	192,498
固定負債合計	366,033	495,041
負債合計	5,095,099	6,002,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,055,000	2,055,000
資本剰余金	2,288,350	2,288,157
利益剰余金	36,644,408	36,973,327
自己株式	△1,523,058	△1,523,058
株主資本合計	39,464,699	39,793,426
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	474,128	382,594
為替換算調整勘定	79,830	△1,324
退職給付に係る調整累計額	△3,857	△2,893
その他の包括利益累計額合計	550,101	378,377
非支配株主持分	27,171	49,445
純資産合計	40,041,972	40,221,249
負債純資産合計	45,137,071	46,223,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年5月21日 至 2017年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月21日 至 2018年8月20日)
売上高	6,396,870	7,095,976
売上原価	4,227,385	4,773,270
売上総利益	2,169,484	2,322,705
販売費及び一般管理費	1,015,958	970,749
営業利益	1,153,526	1,351,956
営業外収益		
受取利息	12,254	9,236
受取配当金	24,762	27,572
受取補償金	23,490	—
その他	26,476	13,278
営業外収益合計	86,983	50,087
営業外費用		
為替差損	20,344	74,744
その他	—	3,580
営業外費用合計	20,344	78,325
経常利益	1,220,165	1,323,718
特別損失		
固定資産除却損	924	163
特別損失合計	924	163
税金等調整前四半期純利益	1,219,241	1,323,554
法人税、住民税及び事業税	294,247	280,760
法人税等調整額	98,656	128,891
法人税等合計	392,904	409,652
四半期純利益	826,336	913,902
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,606	3,879
親会社株主に帰属する四半期純利益	823,729	910,023

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年5月21日 至 2017年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月21日 至 2018年8月20日)
四半期純利益	826,336	913,902
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66,842	△91,533
為替換算調整勘定	33,791	△83,109
退職給付に係る調整額	△1,416	964
その他の包括利益合計	99,217	△173,678
四半期包括利益	925,553	740,223
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	922,479	738,298
非支配株主に係る四半期包括利益	3,074	1,924

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、株式取得によりPowerbox International ABを子会社化したことに伴い、当第1四半期連結会計期間から同社及びその子会社を連結の範囲に含めております。なお、Powerbox International ABは当社の特定子会社に該当しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（企業結合等関係）

当第1四半期連結会計期間（自 2018年5月21日 至 2018年8月20日）

（取得による企業結合）

Powerbox International AB 株式の取得

1. 企業結合の概要

（1）被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 Powerbox International AB（以下、PRBX）

事業の内容 電子機器、電機機械器具の開発、製造及び販売

（2）企業結合を行った主な理由

1974年に設立され、スウェーデンのグネスタに本社を置くPRBXは、スイッチング電源の製造・販売をグローバルに行っております。顧客の競争力強化のために高効率かつ環境に配慮した製品を開発する技術力に強みを持ち、主に、産業機器、輸送機器、医療機器業界向けに個々の顧客に合わせた製品・ソリューションを提供しています。また、高い製品開発力と顧客要求に対応する柔軟なカスタマイズ力を背景に、特に欧州で高いプレゼンスを有し、広範な業界で強固な顧客基盤を築いています。

当社は、PRBXの株式取得により、欧州地域における営業力の強化と開発組織の獲得により事業領域の拡大・強化が可能となります。当社の製品とPRBXの製品を組み合わせることで、それぞれの製品ポートフォリオの拡大と、より広範な顧客層に対する包括的なソリューションの提供が期待されます。欧州地域でのより一層の事業拡大を図るために、PRBXの研究開発から生み出された製品デザイン力のノウハウを当社の製品にも活用していきます。

（3）企業結合日

2018年6月27日

（4）企業結合の法的形式

株式取得

（5）結合後企業の名称

変更はありません。

（6）取得した議決権比率

98.14%

（7）取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式を取得することによります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

当四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書には、被取得企業の業績は含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	228百万SEK	(約2,831百万円)
取得原価		228百万SEK	(約2,831百万円)

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

（1）発生したのれん金額

2,604,541千円

なお、のれん金額は、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算出された金額であります。

（2）発生原因

主として、当社グループと被取得企業が有する顧客関係性、製品開発技術力の相互活用により、有益なビジネスシナジーの創出が可能になるものと判断し期待される超過収益力であります。

（3）償却方法及び償却期間

効果の発現する期間にわたって均等償却いたします。なお、償却期間については取得原価の配分の結果を踏まえて決定する予定であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年5月21日至2017年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本生産 販売事業	北米販売 事業	ヨーロッパ 生産販売 事業	アジア販売 事業	中国生産 事業	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	4,591,067	666,751	254,650	884,400	—	6,396,870	—	6,396,870
セグメント間の 内部売上高	1,220,485	—	—	—	301,793	1,522,278	△1,522,278	—
計	5,811,552	666,751	254,650	884,400	301,793	7,919,148	△1,522,278	6,396,870
セグメント利益	926,584	59,054	14,987	48,021	77,566	1,126,214	27,312	1,153,526

(注)1. セグメント利益の調整額27,312千円は、セグメント間の取引消去14,095千円及び棚卸資産の未実現損益の消去13,216千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年5月21日至2018年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本生産 販売事業	北米販売 事業	ヨーロッパ 生産販売 事業	アジア販売 事業	中国生産 事業	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	5,221,589	713,032	337,851	823,502	—	7,095,976	—	7,095,976
セグメント間の 内部売上高	1,237,327	—	—	—	339,806	1,577,134	△1,577,134	—
計	6,458,917	713,032	337,851	823,502	339,806	8,673,110	△1,577,134	7,095,976
セグメント利益	1,116,410	90,777	16,099	42,759	64,267	1,330,314	21,642	1,351,956

(注)1. セグメント利益の調整額21,642千円は、セグメント間の取引消去6,729千円及び棚卸資産の未実現損益の消去14,913千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間に、Powerbox International ABの株式取得を行い、新たに連結子会社としたことに伴い、報告セグメントを「ヨーロッパ販売事業」から「ヨーロッパ生産販売事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結会計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

ヨーロッパ生産販売事業において、Powerbox International ABの株式取得を行い、新たに連結子会社としたことに伴い、のれん2,604,541千円を認識しております。

なお、のれんの金額は、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算出された金額であります。